

令和2年 8月 6日

保護者の皆様

天童市立干布小学校
校長 多 勢 弘 子

熱中症並びに感染症予防対策のための 「傘さし登下校」について

盛暑の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、本校では、校内において、マスク着用を原則としておりますが、十分な換気をしながら冷房を行い新型コロナウイルス感染症並びに熱中症への対策を講じてまいりました。しかしながら、8月に入り、連日真夏日が続き、今後もしばらくは強い日差しと厳しい暑さの中での登下校を余儀なくされることが予想されます。児童の登下校に際し、これまで以上に熱中症予防にも努めなければならないと考えたところです。

そこで、本校では下記のとおり、熱中症並びに感染症の予防対策として「傘をさしての登下校」を取り入れることといたしました。

つきましては、児童の健康面からの措置としてご理解願いますとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施期間 令和2年8月7日（金）～ 当面の間

2 傘をさしての登下校について

- (1) 晴れ・雨などの天候にかかわらず、傘をさして登下校してもよいこととします。
- (2) 傘は、日傘の方が効果的ですが、雨傘でもかまいません。
ただし、透明のビニール傘は、日差しを防ぎにくく熱がこもりやすいのでお勧めしません。
- (3) 傘をさして登下校した場合には、「マスク着用なし」でかまいません。
傘をさしてもマスク着用を希望する場合には、傘とマスクを併用してもかまいません。
- (4) 傘さしによる登下校のためマスクを着用しない場合でも、校内ではマスクを着用しますので、マスクは毎日持たせてください。

3 屋外におけるマスク着用について

- (1) 屋外で行う活動で、児童間の距離を2m以上確保できる場合には、熱中症予防の観点からマスクを外しても構わないことを指導しております。



裏面もご覧ください

- (2) 体育の授業時には、屋内外問わず児童間の距離が2m以上確保できる場合には、マスクを外して活動するようにしています。
- (3) 一人で登下校する道中においては、周囲と適切な距離を確保できる場合には、マスクを外しても構わないことを指導しております。



4 傘をさすメリット・デメリット

(1) メリット

①傘をさすことで、ソーシャルディスタンスに近い距離を保つことが期待できます。

*児童用の傘の半径は、60cm～80cm程度ですので、傘をさして前後左右に並んだ場合でも、柄の部分は1m20cm～1m60cm程度離れることとなります。

②日差しが遮られ、暑さを緩和できます。

*傘地と頭が近すぎると（傘を低くさした場合）、傘地の内側に熱がこもりやすくなりますので、傘は適度な高さを保ち、風通しをよくすることが必要です。

②マスクを外すことによって息苦しい、蒸れるなどといった弊害がなくなります。

(2) デメリット

①片手がふさがってしまう。

*特に、月曜日と金曜日に持ち物が集中しないように配慮します。

②校舎内へ入る時にマスクを着用したり、下校の際にマスクを外したりする手間がかかる。

*ハンカチ・ティッシュを入れるポシェット等にマスクを入れると出し入れしやすくなります。

5 その他

- (1) 「傘さし・マスク着用なし」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染者が天童市及び近隣市町で2週間以上確認されていないことをふまえての対応です。今後、近隣市町や県内で感染者が確認された場合には、変更される場合もあります。
- (2) ご不明な点やご心配な点等ございましたら、下記担当までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

天童市立千布小学校

教頭 須藤 仁

TEL 654-2307

URL <http://www.hosinuno.jp>

千布小HP

